

# 方形における散らし(6)

高 木 厚 人

Atsuhito Takagi

作品題名 花

作品サイズ 九〇×七〇cm

## ①素材

おなじくは月のをり咲け山桜

花見るをりの絶え間あらせし(西行)

歌意 おなじことならば月の美しい折に咲け、山桜よ。

そうしたら絶え間のないように眺めよう。

## ②行構成

寸松庵色紙の散らしをヒントにして二集団に文字を配した。

## ③文字構成

前半集団は小さく収めるため文字も小さめにした。渴筆で書きはじめ三行目で墨を入れ引き締めた。後半の集団一行目で大きく活

躍させ、その行を生かすために次の二行目は文字もやや小さく、墨量も落とすことを心掛けた。

## ④線

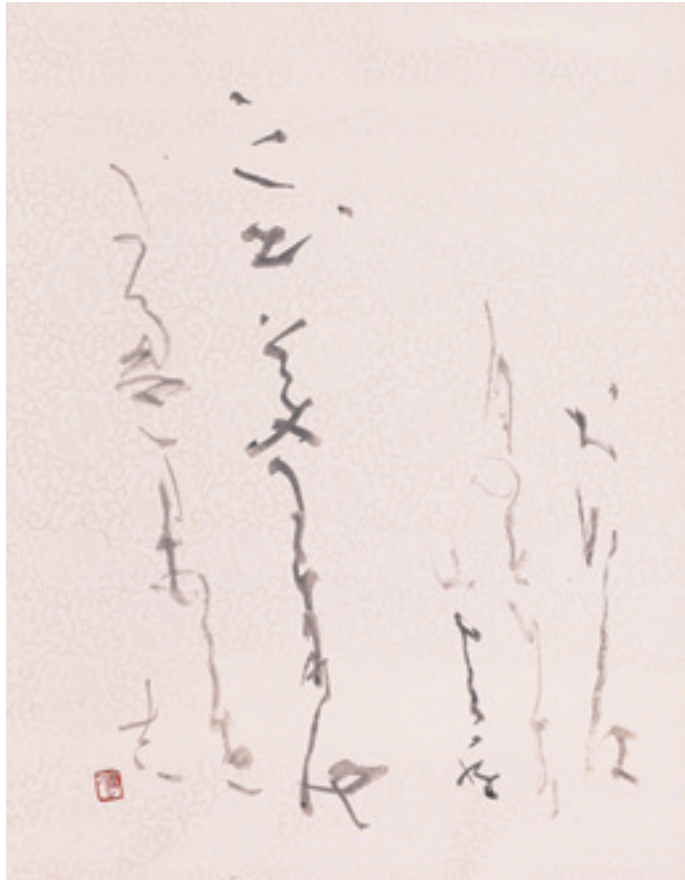
筆の毛のバネを生かすように、常に線に弾力が備わるように留意した。

## ⑤墨量・用筆

明るい墨色を狙った。明るくて力強い作品を目指した。

## ⑥制作意図

満開の桜が月に照らされ浮かびあがっている。そんな静かだが賑やかな、澄んだ生命みなぎる世界を紙の上に再現することを試みたかった。



90×70cm

おなじくは  
月のをりさ介  
山ざ久羅  
花美る乎利能  
多盈万あら世  
志